

夏の水辺は生きものパラダイス

～干潟に行ってみよう！多摩川河口干潟～

大田区の大摩川河口には、汽水域の干潟（多摩川大師橋干潟）と海水域の干潟（ソラムナード羽田緑地前）があります。大師橋干潟には「羽田水辺の楽校」があり、大潮、干潮の日にはだれでも参加できる自然観察会が行われています。この干潟は多様な環境にも恵まれ、多くの種類の生きものが生息しています。また、春から夏にかけて多くの親子が訪れ、泥だらけになって遊んでいます。そして何より大切なことは、干潟は東京湾の環境浄化の大切な役割を担っているということです。

干潟に行く準備をしよう！

服装と持ち物

動きやすい服、干潟で履く靴、帽子、タオル、そして飲みものは必ず持っていくきましょう（熱中症予防も忘れずに）。観察道具（シャベル、バケツ、虫メガネ、軍手など）

必ず履き物を履きましょう

干潟の泥の中にはまだ、昔捨てられたガラス片など思わぬものが埋まっています、ケガをすることがあります。足にフィットした長靴、運動靴が泥から抜け出しやすいです。

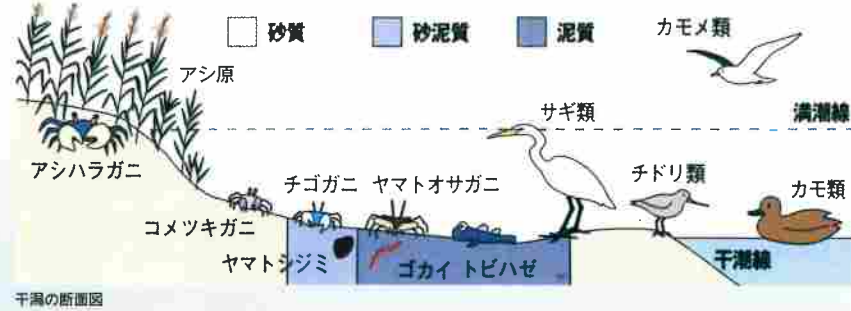
体験、観察の際に気をつけること

- 1 干潟では何人かで活動します（子どもは大人といっしょに）
- 2 生きものをむやみに捕まえず、観察の後は元の場所に逃がします
- 3 掘った穴や動かした石は元に戻します
- 4 潮が満ちてきたら、すぐに岸上がりします
- 5 干潟にごみを捨てない。ごみがあったら拾って、岸まで持ってきてごみ箱に捨ててください。

観察してみよう！

カニの仲間を見わけかた

干潟には、砂の部分、泥の部分、砂と泥の混ざった部分があり、それぞれに違ったカニがすんでいます。大師橋干潟（大田区立本羽田公園前）では主に次の8種類が観察できます。



ベンケイガニ
イワガニ科
甲幅約3.5cm。甲らはまっすぐな四角形で側面にトゲが一つあります。陸よりのアシ原に潜んでいることが多い陸生のカニ。カニなどの小動物や植物などを食べます。



クロベンケイガニ
イワガニ科
甲幅約3.5cm。甲らは四角く、表面に深い溝がはいり、足に毛が多い。アシ原の草地や土手に巣穴を掘って生息する陸生のカニ。雑食性でカニや小動物、魚の死体なども食べます。



カクベンケイガニ
イワガニ科
甲幅約2cm。甲らは四角でまだらの模様があります。岸辺の朽ち木の下や空き間などにすみ、カニなどの小動物や植物を食べます。



アシハラガニ
イワガニ科
甲幅約3.5cm。四角く肉厚な甲らでつるつとした印象。ほかの陸生のカニと違い、水辺近くや干潟にも出てきます。水中に入っている姿を見かけることもあり、ほかのカニ類を捕食することがあります。



ケフサイソガニ
イワガニ科
甲幅約3cm。甲らはほぼ真四角で体が薄くへん平。巣穴はつくりず、水たまりの石の下などに隠れていることが多い。成長したオスのハサミ脚のつけねに房状の毛があります。



コメツキガニ
スナガニ科
甲幅約1cm。丸みのある四角い甲らの砂模様は、周囲に溶け込んでいます。干潟の岸寄りの砂地に巣穴を掘り、まわりにある砂のだんごは食事後にできたものです。



チゴガニ
スナガニ科
甲幅約1cm。甲らはやや横に長く、角に丸みのある長方形。干潟の砂と泥が混ざるところに巣穴を掘り、なわばりを守るためにほかのチゴガニを追い払ったり、泥の壁をつくったりします。



ヤマトオサガニ
スナガニ科
甲幅約3cm。甲らは横長の長方形。この干潟にすむカニでは一番多い。水が引きにくく、ぬかるんだ泥地に巣穴を掘り、柔らかい泥をゆっくりと口に運んで泥の中の有機物、プランクトンなどを食べています。

くらべてみよう！

カニの体のちがいがわかるとえさや住む場所がわかる!?

ハサミ

ノコギリ型とピンセット型

カニのハサミ（実はこれも脚）は、一般的にオスのほうがメスより大きいものです。カニのハサミをよく見てみると、ハサミの内側がギザギザになっているカニとそうでないカニがいます。ベンケイガニなどイワガニの仲間は、アシ原付近で暮らし、カニや死んだ魚などの肉を引きちぎりやすいように内側がギザギザになっています。挟まれるとかなり痛いので気をつけましょう。一方、ヤマトオサガニなどスナガニの仲間は泥や砂をハサミで口に運び、中に含まれる栄養分をこじとったり、泥の表面の藻類をつまむように食べるためのピンセットの役目のハサミなので挟まれてもあまり痛みありません。



ヤマトオサガニ

アシハラガニ

巣穴

草原や土手に穴を掘ってくらすカニを除いて、多くのカニの巣穴は潮が引いた後の干潟に現れます。泥地にくらすヤマトオサガニは、穴の中にたまった泥を足で抱え込むようにして運び出します。砂泥地のチゴガニや砂地のコメツキガニは、地中から突然、小さな丸い穴をあけて出てくるとすぐに食事を始めます。巣穴のまわりは、食事の後にできた砂のだんごでいっぱいです。



コメツキガニ



ヤマトオサガニ



ヤマトオサガニ



ベンケイガニ



チゴガニ

干潟の生きもの・植物

 トビハゼ ハゼ科	 ソトオリガイ ソトオリガイ科	 フナムシ フナムシ科
 カワウ ウ科	 コアシサシ カモメ科	 オオヨシキリ ウグイス科
 アシ イネ科	 ヒルガオ ヒルガオ科	 シロバナサクラタデ タデ科

公園の水辺の生きもの・植物

 メダカ メダカ科	 コシアキトンボ トンボ科	 カルガモ(親子) カモ科
 ニホンスッポン スッポン科	 アメンボ アメンボ科	 ガマ ガマ科
 コウホネ スイレン科	 スイレン スイレン科	 ハンゲショウ トクダミ科

多摩川台公園
洗足池、小池